

科目名		解剖学特論	
科目責任者		東 華 岳 (第1解剖学 教授)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>人体の精緻で巧妙な仕組みを肉眼解剖学、顕微解剖学、細胞・分子生物学などの手法を駆使して多角的に学習し、マクロ・マイクロレベルで人体の構造と機能の理解を深める。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 骨の基本構造と骨格の構成を概説できる。 2) 骨細胞、骨芽細胞、破骨細胞の微細構造と生理機能を概説できる。 3) 関節の基本構造と補助装置、および関節の種類を説明できる。 4) 骨格筋の分類と形態学的特徴を説明できる。 5) 骨格筋の神経支配、および神経・筋結合部の構造を概説できる。 6) 中枢神経系の正常構造と機能を説明できる。 7) 海馬の構造と機能を概説できる。 8) 末梢神経系の構成を概説できる。 9) CT、MRI といった医用画像に基づく人体構造の解析を概説できる。 			
● 評価方法	検討会での討論 (30%)・発表 (30%)・レポート等 (40%) で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)

骨の分類、形状、構造と機能

骨の構成細胞

骨のモデリングとリモデリング

骨代謝の制御

骨量と骨質

骨の画像解析

関節の基本構造と補助装置

関節の分類

骨格筋の構造と機能

骨格筋の画像解析

脳・脊髄の形態学的解析

ニューロンとシナプスの構造と機能

グリア細胞の構造と機能

脳と脊髄の血管系

海馬の形態学的解析